

北十勝みちむすび通言【第1号】

北十勝地域協働型道路マネジメント検討会ニュースレター

北十勝地域協働型道路マネジメント検討会 これまでのながれ

平成 25 年度

課題、地域資源の整理

平成 26 年度

「基本プラン」策定

どんなことを一緒に
取り組めそうか？

◎ 国道 38 号

点在する観光資源の情報提供をめざす。
国道 274 号、273 号

◎ 自然景観の保全、住民・観光来訪者への 安全・安心な道路環境づくりをめざす。

平成 27 年度

「推進プラン」策定

推進プラン1

景観の良い場所の雑草などの処理
(必要な区間・場所の検討)

推進プラン2

観光ポイントの周知・PR
(案内看板の改善など)

推進プラン3

道路情報提供
(ヒヤリハットマップなど)

平成 28 年度実施



「道」から地域を知る、活かす。「協働」の取り組み

国土交通省北海道開発局では「地域協働型道路マネジメント」の取り組みをすすめています。これは、国道や関連する施設（駐車帯、標識、情報施設など）を、地域の状況に合わせて「よりよく」活用するため、直接地域の皆さんと検討するものです。帯広開発建設部においても、十勝北西部（清水町、新得町、鹿追町、士幌町、上士幌町）を対象に、平成二十五年度から「北十勝地域協働型道路マネジメント検討会」を立ち上げ、意見交換を行ってきました。

国土交通省北海道開発局では「地域協働型道路マネジメント」の取り組みをすすめています。これは、国道や関連する施設（駐車帯、標識、情報施設など）を、地域の状況に合わせて「よりよく」活用するため、直接地域の皆さんと検討するものです。帯広開発建設部においても、十勝北西部（清水町、新得町、鹿追町、士幌町、上士幌町）を対象に、平成二十五年度から「北十勝地域協働型道路マネジメント検討会」を立ち上げ、意見交換を行ってきました。

今後も、北十勝地域をモデルとして、
十勝管内で協働の取り組みをすすめる予定です。



検討会メンバー

- 委員長 高野 伸栄 北海道大学大学院工学研究院教授
委員 三井 福成 十勝シーニックバイウェイ十勝平野・山麓ルート代表
林 正信 十勝シーニックバイウェイ十勝平野・山麓ルート事務局
平尾 勝徳 清水町観光協会会長
佐藤 弘夫 士幌町グリーンツーリズムネットワーク代表
竹田 英一 旧狩勝線を楽しむ会
野村 恵子 上士幌町商工会女性部長

オブザーバー

- 鹿追町役場（建設水道課）
鹿追町役場（商工観光課）
清水町役場（商工観光課）
士幌町役場（建設課）
上士幌町役場（建設課）
新得町役場（産業課）
帯広開発建設部（道路計画課、道路整備保全課）
帯広開発建設部帯広道路事務所
帯広開発建設部足寄道路事務所

これまでの取り組み

地域協働型道路マネジメント検討会

とりくみ1 景観づくり



検討会メンバーで現地を確認。従来は「効率性」から設定していた草刈りの期間を調整し、観光シーズンに合わせてスケジュールを組みなおしました。



草刈前

初夏からすっきり

草刈後

まちの「おもてなし」時期にあわせませす。草刈りのタイミング。

然別湖など、自然景観や農業文化を活かしたまちづくりの鹿追町と、ぬかびら温泉へのアクセスも多い上士幌町。この地域から「お客様をむかえる6月ころからすっきりした沿道で迎えたい」というアイデアがあげられました。この地域の草刈は従来、効率の面から真夏の7・8月に行っていました。6月や秋には伸びが目立つようになっていたとのこと。メンバーが現地へ赴き、重点的に草刈をする場所を選定。時期をずらした維持管理を平成27年度から実施しています。

安全と観光の両立

上士幌町三股を通り三国峠へぬける国道273号は、北海道らしい山岳景観が見どころです。この景観を生かすため、矢羽根の一部撤去を行いました。矢羽根は積雪期に道路の端を示す設備で、冬の除雪など維持管理に欠かせません。近年は代替設備(デリネーター)が改良されてきたこともあり、景観を重視する区間では優先順位をつけ、交換を行っています。



とりくみ3 道路情報提供

通行止めなど注意箇所を表記。イベントや道の駅でアンケートも実施し、ご意見を採りいれています。



北海道と十勝の歴史を語る鉄道遺産。産業・土木遺産としての価値も高い。鉄道ファンのほかにも訪れる人は多い。

とりくみ2 わかりやすい 標識



設置場所は「小笹川橋梁」へ徒歩約3分、国道38号の駐車帯です。

まちの歴史を、国道からご案内。

新得町には、旧狩勝線のレンガ橋などの遺構が現存し、鉄道ファン以外にも多くの人を惹きつけています。国道の駐車帯からほど近い「小笹川橋梁」もそのひとつ。国道38号の駐車帯の施設に案内標識を設置するため、ワーキング会議でデザインなどを検討しました。

地域のよさを、安心につなげたい。「安心ドライブマップ」の検討。

国立公園をはじめとする山岳地帯にある十勝北西部は、豊かな自然景観が特徴です。一方で、携帯電話の通じない区域や、天候等によって通行止めとなる区間や、路面状況に注意するポイントもあります。検討会では、住民の方と一緒に「安心ドライブマップ」を作成。今後、市町村などの関係機関と連携して活用していきます。